

別紙 システム機能要件一覧表

【重要性】

- A：業務を行う上で、必須である機能。
- B：実装されていない場合、業務効率が低下する機能。
- C：実装されている場合、業務効率の向上が期待できる機能。

【対応】

- ：パッケージ標準機能で対応
- △：カスタマイズによる対応（費用は見積もりに含めること）
- ×：対応不可（代替案があれば、提案書に記載すること）

住民向け一斉情報配信システム		
【運用アカウント】	重要性	対応
本システムから提供される管理画面を通じて情報配信業務を行う運用アカウントにはシステム管理者と運用担当者があり、システム管理者は運用担当者の登録とその役割に応じた各種設定を行うことができること。	A	
運用担当者に対して所属部署等に応じた組織グループを割り当てることができること。	A	
運用担当者に対してメッセージ配信を行うための権限の有無を設定できること。	A	
運用担当者に対して作成されたメッセージの配信承認を行うための権限の有無を設定できること。	A	
運用担当者に対して特定の利用者属性の閲覧可否を設定することができること。	A	
運用担当者が所属する組織グループによりメッセージ配信時に選択可能な配信カテゴリおよび配信タグを制限することができること。	A	
運用担当者によりメッセージ配信時に選択可能な配信メディアを制限できること。	A	
【利用者の登録管理機能】	重要性	対応
利用者が登録時に選択した配信カテゴリ、利用者の登録メディア、キーワードや登録期間で利用者を検索することができること。また、検索結果をCSVファイルでダウンロードできること。	A	
管理画面から1件ずつ利用者の登録・編集ができること。	A	
利用者情報をCSVファイルでアップロードし、一括で登録ができること。	A	
【メッセージ配信機能】	重要性	対応
配信するメッセージは件名、本文、署名に分けて入力できること。	A	
配信後のメッセージを分類・仕分するための配信タグを設定できること。	A	
メッセージの配信対象として、利用者が登録時に選択した配信カテゴリ、利用者の登録メディア、利用者が登録時に入力した利用者属性により、複合的に条件を選択して絞り込むことができること。	A	
画像またはPDFの電子ファイルをメッセージに添付して配信できること。	A	
添付された電子ファイルはメッセージに自動挿入されたバックナンバーページ（配信メッセージの確認ページ）参照URLから閲覧できること。	B	
メッセージを配信するタイミングとして即時配信または配信日時を指定した予約配信ができること。予約時刻は5分単位で設定できること。	A	
メッセージ編集中に一時保存ができること。	A	
自治体ホームページなど、自治体が保有するページへのアクセス数を測定するための専用URLを生成する仕組みを有すること。また複数のページのURLを生成し保持できること。	A	
専用URLは利用者属性に合わせて分岐設定ができること。	A	
生成された専用URLは、メッセージ作成画面にてメニューより呼び出してメッセージ本文に自動的に挿入ができること。	A	
専用URLからのアクセスログを集計／グラフ表示ならびにダウンロード機能を有すること。	A	
配信テンプレートは配信内容・配信カテゴリ・配信メディアを登録できること。設定した配信テンプレートを利用して、新規メッセージの作成ができること。	A	
配信テンプレートは運用アカウントの所属グループによって複数担当者で共有して利用できること。	A	
配信済みや保存済みのメッセージから内容を引用コピーして新規メッセージを作成できること。	A	
配信するメッセージには配信権限をもった運用アカウントが配信操作を実行、または承認権限をもった運用アカウントが配信承認することで実際に配信されること。	A	
メッセージ配信前の確認用画面ではページ印刷機能があり、印刷用紙内に承認印を押印するための余白を設けること。	A	
実際の配信前に事前に登録されたテスト用のメールアドレスに対して、テスト送信をする仕組みがあること。	A	
音声を利用するメディアの場合、入力されたテキストから音声合成することができ、その場合、再生速度の変更や声調の異なる2種類以上の話者を選択できること。	B	
音声を利用するメディアで利用する音声ファイルをmp3またはwavファイルでアップロードできること。	A	
過去に配信したメッセージをバックナンバーとして一覧に公開し確認することができること。	A	
メッセージの詳細画面では配信されたメッセージ内容が確認できること。	A	
配信状態、配信期間、キーワード、配信カテゴリからメッセージを検索し、詳細を確認することができること。	A	
配信したメッセージを配信月や配信タグごとに分類して表示することができること。	B	
バックナンバーに公開したメッセージの文字サイズを変更することができること。	B	
バックナンバーに公開したメッセージを音声で読み上げることができること。	B	
バックナンバーに公開したメッセージに添付された電子ファイルを参照することができること。	B	
バックナンバーに公開した情報を非公開に変更することができること。	A	
利用者が自ら登録を行う登録型のメディアから利用者が登録する際の利用者規約を設定・変更できること。	A	
配信カテゴリは最大で5階層程度の階層構造にて設定ができること。	A	
配信タグは任意の文字列と複数のカラーパターンの組合せから作成できること。	A	

	【メール配信機能】	重要性	対応
	利用者は登録用メールアドレスへ空メールを送信することで、本登録用URLが記載されたメールを受信し、Webブラウザから必要情報を入力することで登録ができること。	A	
	利用者は利用者情報の設定ページで受信設定したカテゴリのメッセージを受け取ることができること。	A	
	特定電子メール法に従い、配信されるメッセージにオプトアウト(配信の停止)をするための、URLが自動で付与されること。	A	
	高速配信を行うために複数のIPアドレスが設定された専用のメールサーバーから配信し、ベストエフォートとして1時間に10,000,000通程度配信可能な性能を有すること。	A	
	携帯キャリアからの迷惑メール対策として、ブロックした場合には非ブロックのスレッドから再配信できること。複数のIPアドレスからの配信が可能であること。	A	
	一定回数以上不達になったアドレスを自動で配信停止にできること。また、配信停止したアドレスは、再度配信対象として復元させる機能があること。	A	
	予期できないシステムの負荷集中を軽減するために、メール配信サーバーは民間企業等の商用での利用を目的としたパッケージとは混在させず、官公庁など公的機関及び教育機関専用の環境として構築されていること。	A	
	【LINE配信】	重要性	対応
	(プッシュメッセージの場合) 利用者はLINE公式アカウントに友達登録後、LINEアプリのチャット内に表示される本登録用URLから本登録ページにアクセスし、必要情報を入力することで登録ができること。	A	
	退会を希望する場合は、LINEアプリのチャット内から設定変更・退会を行うためのページに直接アクセスし実施できること。	A	
	(ブロードキャストメッセージの場合) ・利用者はLINE公式アカウントを友達追加することで登録ができること。	A	
	【FAX配信】	重要性	対応
	・FAXを利用して情報配信ができること。	A	
	【電話配信】	重要性	対応
	本システムから提供される管理画面から運用者が電話番号を登録できること。	A	
	利用者グループを設定することができ、メッセージ配信を行う際は特定のグループに所属している利用者に対して配信を行うことができること。	A	
	配信対象リストの利用者に対して、1CPS(コール・パー・セカンド)以上の速度で順次架電を行うことができること。	A	
	利用者が発信元電話番号へ折り返し発信することで、最新の配信内容を再生して聴けること。	A	
	配信されたメッセージの架電状態ステータスを確認することができること。	B	
	【yahoo防災連携】		
	・yahoo防災アプリと連携できること。	A	
	【気象情報・外部システム連携】	重要性	対応
	外部システムからの通知による自動配信に対応できること。 ・令和8年6月から始まる新しい防災気象情報に対応できること。 ・Jアラートの自動配信に対応できること。	A	
職員向け情報配信システム			
	【運用アカウント】	重要性	対応
	本システムから提供される管理画面を通じてシステム運用を行う運用アカウントにはシステム管理者と運用担当者があり、システム管理者は運用担当者の登録とその役割に応じた各種設定を行うことができること。	A	
	運用担当者に対してメッセージ配信を行うための権限の有無を設定できること。また、その権限は利用者の組織グループごとに設定できること。	A	
	運用担当者に対して本システム上から配信されたメッセージ履歴の閲覧権限の有無を設定できること。また、その権限は利用者の組織グループごとに設定できること。	A	
	【職員の登録管理機能】	重要性	対応
	キーワードや組織で利用者を検索することができること。また、検索結果をCSVファイルでダウンロードできること。	A	
	管理画面から1件ずつ利用者の登録・編集ができること。	A	
	利用者情報をCSVファイルでアップロードし、一括で登録ができること。また、登録用のCSVファイルを管理画面からダウンロードできること。	A	

	【メッセージ配信機能】	重要性	対応
	配信するメッセージは件名、本文、署名に分けて入力できること。	A	
	メッセージの配信対象として、利用者の所属する組織グループ、配備体制、利用者属性により、複合的に条件を選択して絞り込むことができること。	A	
	メッセージの配信対象として、受信者を一人ずつ任意に指定して配信できること。	A	
	画像またはPDFの電子ファイルをメッセージに添付して配信できること。また、添付された電子ファイルはメッセージに自動付与されるファイル参照用URLから確認できること。	A	
	メッセージを配信するタイミングとして即時配信または配信日時を指定した予約配信ができること。予約時刻は5分単位で設定できること。	A	
	メッセージ編集中に一時保存ができること。	A	
	メッセージには安否・参集確認フォームを添付することができること。	A	
	安否・参集確認フォームに対する回答には単一選択、複数選択、テキストの回答形式を利用できること。	A	
	利用者が安否・参集確認フォームにより回答した結果は、自動集計されて管理画面上から確認できること。また、回答経過グラフの表示や、組織別・回答結果別で集計ができ、集計結果をCSVファイルでダウンロードができること。	A	
	一定時間たっても安否・参集確認の回答が確認できない場合は一定時間経過後にリトライしてメッセージを自動で配信できること。その際、職員が優先順位を付けて登録した他のメールアドレスや電話番号にメッセージ配信をすること。	A	
	メッセージの配信内容を事前設定した配信テンプレートを利用して、新規メッセージの作成ができること。	A	
	配信テンプレートは配信内容・配信組織・組織体制を登録できること。	A	
	配信テンプレートは運用アカウントの所属グループによって複数担当者で共有して利用できること。	A	
	配信テンプレート以外にも、配信済みや保存済みのメッセージから内容を引用コピーして新規メッセージを作成できること。	A	
	メッセージ配信前の確認用画面ではページ印刷機能があり、印刷用紙内に承認印を押印するための余白を設けること。	A	
	実際の配信前に事前に登録されたテスト用のメールアドレスや電話に対して、テスト送信をする仕組みがあること。	A	
	音声を利用するメディアの場合、入力されたテキストから音声合成することができ、その場合、再生速度の変更や声調の異なる2種類以上の話者を選択できること。	B	
	過去に配信したメッセージを一覧で確認することができること。	A	
	メッセージの詳細画面では配信されたメッセージ内容や安否・参集確認フォームの回答結果が確認できること。	A	
	配信状態、配信期間、キーワードからメッセージを検索し、詳細を確認することができること。	A	
	気象情報などの外部システム情報を検知すること自動で安否・参集確認フォームを添付したメッセージを生成して配信ができること。	A	
	自動生成されるメッセージは災害の種類や規模により、配信対象となる利用者の組織グループ・配備体制を指定できること。	A	
	メッセージに添付される安否・参集確認フォームは、最後に配信された日時から一定期間内においては前回添付したものを再利用して各職員の状況を更新できること。	A	
	【職員の登録方法】	重要性	対応
	システム管理者が登録対象となる職員のID、仮パスワードをあらかじめ設定し、仮登録ができること。	A	
	登録対象となる職員はWebブラウザから本登録用のページにアクセスし、システム管理者から通知されたID、仮パスワードを入力することで本登録ができること。	A	
	本登録の際は、氏名等の利用者属性、職員が属する組織グループ・配備体制情報、メッセージを受け取るメディアを登録情報として入力ができること。	A	
	【配信メディア（メール）】	重要性	対応
	メールに添付された安否・参集確認フォームのリンクからワンタイムURLにより専用フォームにアクセスし回答できること。	A	
	高速配信を行うために複数のIPアドレスが設定された専用のメールサーバーから配信し、ベストエフォートとして1時間に10,000,000通程度配信可能な性能を有すること。	A	
	携帯キャリアからの迷惑メール対策として、ブロックした場合には非ブロックのスレッドから再配信できること。複数のIPアドレスからの配信が可能であること。	A	
	一定回数以上不達になったアドレスを自動で配信停止にできること。また、配信停止したアドレスは、再度配信対象として復元させる機能があること。	A	
	予期できないシステムの負荷集中を軽減するために、メール配信サーバーは民間企業等の商用での利用を目的としたパッケージとは混在させず、官公庁などの公的機関及び教育機関専用の環境として構築されていること。	A	

	【配信メディア（電話）】	重要性	対応
	電話を受信後、音声合成されたメッセージ内容を聴くことができること。	A	
	安否・参集確認フォームへは電話端末の番号を選択することによって回答できること。	A	
	配信対象リストの利用者に対して、1CPS(コール・パー・セカンド)以上の速度で順次架電を行うことができること。	A	
	利用者が発信元電話番号へ折り返し発信することで、最新の配信内容を再生して聴けること。	A	
	配信されたメッセージの架電状態ステータスを確認することができること。	B	
	【職員専用WEBページ】	重要性	対応
	職員のID・パスワードを入力しログインすることで配信されていたメッセージと安否・参集確認のフォームを確認できること。	A	
	所属組織や配備体制、連絡用個人情報の変更ができること。	A	
	【気象情報・外部システム連携】	重要性	対応
	外部システムからの通知による自動配信に対応できること。 ・令和8年6月から始まる新しい防災気象情報に対応できること。 ・Jアラートの自動配信に対応できること。	A	
自治会向け情報配信システム			
	【団体管理】	重要性	対応
	行政は地域内の自治会/町内会/連合会などのといった各種団体の情報を管理することができること。（団体、団体運営者情報の参照、登録、編集、登録解除等）	A	
	行政は地域内の自治会/町内会/連合会などのといった各種団体に階層構造の関係性を持たせることができること。	A	
	行政は団体情報をCSVから一括で取込・出力することができること。	A	
	行政が管理する各団体情報利用して団体運営者、団体参加者はアプリに利用登録することができること。	A	
	【団体運営者登録】	重要性	対応
	行政は団体運営者と団体参加者の登録申請時の入力項目の設定をすることができること。	A	
	団体運営者は行政又は他の団体運営者から案内された団体番号を入力することで登録申請を行うことができること。	A	
	既存団体運営者は新たに団体運営者を団体参加者の中から設定することができること。（年次更新）	A	
	【団体参加者登録・管理】	重要性	対応
	団体運営者は団体内の団体参加者の情報を管理することができること。（団体参加者情報の参照、編集、登録解除等）	A	
	団体運営者は団体参加者の登録申請時の入力項目の設定をすることができること。	A	
	団体運営者は団体参加者の登録申請に対して承認有無の設定を行うことができること。	A	
	団体参加者は行政又は団体運営者から案内された団体番号や地域、キーワードによる団体検索を行うことで任意の団体に登録申請を行うことができること。	A	
	団体運営者は団体参加者の登録申請に対して承認または却下を行うことができること。	A	
	【世帯管理】	重要性	対応
	団体参加者同士が世帯登録操作を行うことで同一世帯として世帯登録することができること。	A	
	団体運営者は世帯情報の閲覧や管理をすることができること。	A	
	【回覧板】	重要性	対応
	行政は団体運営者、団体参加者への情報共有として回覧板を作成、登録することができること。	A	
	団体運営者は団体参加者への情報共有として回覧板を作成、登録することができること。	A	
	行政と団体運営者は階層構造に合わせて公開範囲（回覧板を閲覧可能な団体参加者の範囲）を指定することができること。	A	
	行政と団体運営者は団体参加者による回覧板へのコメント投稿可否の設定をすることができること。	A	
	行政と団体運営者はタイトルと本文を入力し任意の日時を指定して回覧板を公開することができること。	A	
	行政と団体運営者は複数の添付ファイル（画像・PDF）を付けて回覧板を公開することができること。	A	
	添付ファイルの画像が制限サイズを超えている場合は自動リサイズを行い添付することができること。	A	
	行政と団体運営者は共有ファイルを指定してサイズが大きいファイルや、オフィスファイル等を回覧板に添付することができること。	A	
	行政と団体運営者は指定した公開範囲の団体参加者に対して回覧板の既読確認をとることができること。	A	
	行政と団体運営者は指定した公開範囲の団体参加者に対して出欠確認などの簡易的な質問を回覧板上で行うことができること。	A	
	行政と団体運営者は指定した公開範囲の団体参加者に対して回覧板上で公開済みアンケートの回答を促すことができること。	B	

	【グループ掲示板】	重要性	対応
	行政と各種団体や団体間、団体内で任意の参加者のみに限定した連絡の手段としてグループ掲示板を利用することができること。	A	
	行政や団体運営者がグループ掲示板を登録することができること。	A	
	グループ掲示板の参加者は掲示板内でコメントの閲覧や投稿をすることができること。	A	
	コメントには画像またはPDFを添付することができること。	A	
	掲示板の任意のコメントに対して返信をすることができること。	A	
	添付ファイルの画像が制限サイズを超えている場合は自動リサイズを行い添付することができること。	A	
	【共有フォルダ】	重要性	対応
	行政と各種団体や団体間、団体内での情報共有を目的として共有フォルダを利用することができること。	A	
	行政や団体運営者が共有フォルダにファイルを登録することができること。	A	
	ファイルはオフィス系ファイルなど、画像やPDF以外のファイルも登録することができること。	A	
	行政や団体運営者はフォルダに公開範囲を指定してフォルダ内のファイルを参照可能な団体参加者を制限することができること。	A	
	乱雑なファイル登録を防止するために団体ごとに登録できることファイルには制限を設けることができること。	A	
	【アンケート】	重要性	対応
	行政と各種団体や団体間、団体内での意見徴収等の目的としたアンケート機能を利用することができること。	B	
	行政や団体運営者がアンケートを登録することができること。	B	
	登録したアンケートは閲覧板やお知らせに添付して利用することができること。	B	
	アンケートには複数の設問（最低10問以上）を設けることができること。	B	
	アンケートの受付が終了した場合はそれ以上の回答が出来ないようにすることができること。	B	
	アンケートの回答は一覧やグラフといった形式で確認することができること。	B	
	アンケートの回答データは集計等のデータ加工を行うためにダウンロードすることができること。	B	
	【お知らせ】	重要性	対応
	自治体と各種団体や団体間、団体内での重要情報の連絡（防災情報等）を目的としたお知らせ機能を利用することができること。	A	
	お知らせは団体専用アプリの画面に目立つ形でスライド画像とセットで表示することができること。	A	
	お知らせは公開期間を指定して対象の団体参加者に公開することができること。	A	
	お知らせを参照することで、お知らせに設定されたURLや別のコンテンツ（閲覧板やアンケート、安否確認など）に対して誘導することができること。	B	
	【行政支援】	重要性	対応
	町が現在利用する防災関連のシステムと連携し、防災情報を発信することができること。	A	
	特定の権限を持った専用のアカウントから団体別の登録者数、団体運営者の管理状況等を閲覧することができること。	A	